公共施設の縮減を未来への投資に

町長　未来につなげる視点で進めたい

録画を配信



よこやまかずひろ
横山和浩 議員

全ての公共施設等を、これまで同様に維持することは困難と想定されている。将来の方針について質問した。

【公共施設等総合管理計画】

実績の評価は

問　管理計画によれば、公共施設等の更新費用は今後30年で648億円を超え、全てをこれまでと同様の方法で維持することは困難と想定している。一方では新たな投資も必要。

管理計画に対する実績の評価と次期計画の考え方は。

町長　管理計画全体の進捗を確認・共有する機会はもうけず、施設ごとに維持管理費などを把握し、検証・判断してきた。施設の統合や長寿命化など、一定の施設マネジメントが図られたと認識している。

次期計画では、町民サービスや地域の拠点維持、財政負担の軽減・平準化とのバランスが重要と考えている。

判断基準

問　次期計画では、施設統合等の判断基準を明確にするのか。

町長　計画期間中に耐用年数を迎える施設は廃止を前提に検討するなど、一定の条件をもうけることも考えられるが、具体的な方向は改定作業の中で検討していく。

問　施設の統合等にあたり、町民と問題意識を共有する体制は。

町長　町民の皆様から十分な理解を得ることが何よりも重要。

総務課長　施設の大規模な統合等が想定される際や、町民の皆様の利便性等に直結するような課題発生において、経過や見通しを共有し議論いただくような場を想定している。

【スポーツ公園】

スポーツセンター構想

問　管理計画で示すスポーツ交流館の耐震化と、関連でスポーツセンター構想の状況は。

教育長　管理計画ではスポーツ交流館の耐震化を目標としているが、施設のあり方の検討が進んでおらず、耐震化の調査も進んでいない。

教育次長　スポーツセンター構想の策定から十数年が経過し、社会情勢も変化した。持続可能なスポーツ環境整備に取り組めるよう、構想の見直しを図りたいと考えている。



どうなるスポーツ交流館

【未来への投資】

縮減を未来への投資に

問　施設の縮減等により生まれる財源や人員を未来への投資に向ける、という視点を明確に持っていただきたい。

町長　縮減や統合は、必要な行政サービスと持続可能な行財政運営を維持するための手段である。生み出される財政的・人的資源は、単なる経費削減で終わらせず、重点施策や新たな行政課題に積極的に振り向ける。

町民の理解を得ながら限られた資源を未来への投資につなげる視点を持ち進めたい。

私もひとこと

縮減の先にどんな地域をつくるのか。行政と住民が本気で対話し未来を考えたい。　（40代男性）